

練馬区立光が丘四季の香小学校

学校だより



< 1 月 号 >

令和4年1月8日

TEL 03-3977-2711

校長 繁田 幸江

第130号

教育目標：自ら考える子・思いやりのある子・たくましい子

HP <http://www.shikinokaori-e.nerima-ky.ed.jp/>

「和の心」を伝える～箏体験授業～

校長 繁田 幸江

新年明けましておめでとうございます。3学期は、セーフティ教室で始まりました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公開はいたしませんでしたが、後日授業の動画をご覧いただくことで、内容をお知らせしたいと思います。新しい時代を生きる子供たちに、自分の命を自分で守り、互いの人権を尊重し合って生活する力を教職員一同育てていきます。地域の皆様、保護者の皆様、本年も御協力の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今年の正月は、家で年を越された方も多いのではないのでしょうか。正月ほど日本文化を感じることはありません。門松、除夜の鐘、年越しそば、お節料理、雑煮、初詣、書初め。テレビでは、晴れ着を着たタレントや雅楽のBGMが正月の雰囲気華やかに盛り上げていました。

日本の伝統文化といえば、本校では昨年11月に6年生が箏体験の授業を行いました。講師は、箏の演奏家で長年小学校・中学校で授業を行っている増淵喜子先生です。先生は、年を重ねていらっしゃいますが、とてもエネルギーが豊富です。子供たちの人数分の「文化箏」を自家用車に詰め、自らハンドルを握って学校に運ばれます。まさに「出前授業」です。「一人でも多くの子供たちに箏を体験させたい。」「子供たちが真の国際人になるために、自国の音楽を身に付けてほしい。」その熱い想いに、初めは難しそうと消極的だった子供たちも、次第に目を輝かせて練習するようになります。授業では、まず先生の手製プリントで箏の歴史や楽器の各部分の名前などを学びます。次に、箏爪を着け、一人一面の文化箏で「さくらさくら」を練習します。普通、箏の楽譜は縦書きで漢数字や漢字を使って表しますが、子供でも理解しやすいようにアラビア数字で横書きに直してあります。（文化箏にも数字のシールが貼られ、弾く場所がひと目で分かります。）クライマックスは、二つのパートに分かれて全員で演奏する「さくらさくら」。パートを交代して何度も楽しみました。最後は、先生の模範演奏です。平安時代の宮廷楽器だった箏の雅な音色が体育館に響き渡り、心が揺さぶられました。子供たちの感想をご紹介します。

- 箏の二重奏が一番楽しかったです。二つのパートが奏でる一つの曲は、とても感動しました。
- 箏は初めてだけど、2時間でこんなに弾けるようになれてすごくうれしかったです。
- 箏の木目やほり目がとてもきれいで光沢があり、美しさは音色だけではないと感じました。
- 先生の演奏は桜の散る様子が自然と想像でき感動しました。もっと箏について調べたいです。
- お箏を教えてもらったことをきっかけに、もっと日本の素晴らしい文化を知りたいです。

子供たちは、箏体験を通して、箏を演奏する楽しさや音色の美しさだけでなく、日本の伝統文化についても興味をもち始めました。感性豊かな子供の心は、素直に良いものを感じて受け入れることができます。これからも、様々な日本文化に触れたり体験したりすることを通して、「和の心」を子供たちに伝えていきたいと思えます。